

センチュリー21 ガール伊原六花、歌手デビュー決定
2019年1月下旬より放送予定の新CMにて歌声を披露！
楽曲は MONDO GROSSO の大沢伸一さんがプロデュース

株式会社センチュリー21・ジャパン（本社：東京都港区 代表取締役社長：長田 邦裕）は、バブリーダンスでおなじみのおなじみ大阪府立高校ダンス部元キャプテンで、2018年2月からセンチュリー21のイメージキャラクター“センチュリー21 ガール”を務める、女優の伊原六花さんが歌手デビューすることを発表します。楽曲名は「Wingbeats」。2019年1月21日（月）から放送予定のセンチュリー21の新CM内で、主要配信サイトでのリリースに先立ってオンエアされます。なお、主要配信サイトでは1月30日（水）より配信を予定しています。



芸能界デビュー後、センチュリー21 ガールとして弊社のCMや各種プロモーションにて活躍、また、女優としてもドラマなどに出演し成長を続けてきた伊原さんが、今回新たに歌手として活動を開始します。伊原さんの透明感のある歌声と、新たな一面にご期待ください。

また、楽曲は「MONDO GROSSO」として活動される一方で、多くのアーティストに楽曲提供を行い、多数のヒット作を手がける音楽家、DJ、プロデューサーの大沢伸一さんがプロデュース。透明感のある伊原さんの歌声を乗せて期待感のあふれる楽曲となる予定です。今回の歌手デビューにあたり、伊原さんは「もともとダンスにくわえ歌うことも好きでした。人前に出て歌うことが初めてだったので、ボイストレーニングにも通わせていただき、歌手デビューに向けて一生懸命練習し

ました。是非、多くの人に聞いていただければと思います。」とコメントしました。

また、大沢伸一さんは歌手デビューする伊原さんに「今回プロデュースの依頼を受けて作曲、アレンジを担当しました。CM ソングでもあるのですが彼女自身のイメージにも重なる部分もあり良い仕上がりになったと思います。」と、完成する楽曲への意気込みを語ってくれました。

本楽曲は、2019年1月21日（月）より放送予定のセンチュリー21の新CMおよび、センチュリー21YouTube公式アカウント限定で公開されるミュージックビデオでご視聴いただけます。

歌という新たなステージに飛び出す伊原さん。センチュリー21・ジャパンは、新しいチャレンジに踏み出す全ての人々を応援しています。

<伊原六花さんコメント>

センチュリー21 ガールとしてデビューさせていただいてから、新しいことにたくさん挑戦させていただいています。CM もそうですし、今回の歌手デビューもサポートしていただきました。これらの経験を自分の身になるようにひとつひとつ大事にしてこれからも頑張っていきたいと思います。大沢伸一さんの楽曲は、リズムも本当に素敵ですし、背中をおしてくれるような楽曲でした。歌詞を咀嚼しながら精一杯歌ったので、この曲を聴いてくださった方が「なにかちょっと頑張ってみようかな」「なんか元気になったな」と思っていたら嬉しいです。このような形で歌手デビューすることができて、本当に幸せです。

<伊原六花さんプロフィール>



生年月日：1999年6月2日（19歳）
出身地：大阪府
血液型：A型
身長：160cm

学生時代には、大阪府立高校ダンス部でキャプテンを務め、話題となった。2018年、芸能界へ本格デビュー。TBSドラマ「チア☆ダン」でドラマデビューを飾り、2019年1月3日放送のNHK正月時代劇「家康、江戸を建てる 後編 金貨の町」にも出演が決まっており、2019年4月より放送される「明治東京恋伽」では初主演を務める。（ドラマ放送後に映画も公開予定）

<大沢伸一さんプロフィール>



音楽家、DJ、プロデューサー、選曲家。リミックスを含むプロデュースワークでBOYS NOIZE、BENNY BENASSI、ALEX GOHER、安室奈美恵、JUJU、山下智久などを手がける他、広告音楽、空間音楽やサウンドトラックの制作、アナログレコードにフォーカスしたミュージックバーをプロデュースするなど幅広く活躍。2017年14年振りとなるMONDO GROSSOのアルバム『何度でも新しく生まれる』をリリース。iTunesアルバム総合チャート1位、オリコンアルバムランキング8位、満島ひかりが歌う「ラビリンス」ミュージックビデオが1600万回以上再生されるなど音楽シーンの話題となった。2018年3月には続編アルバム『Attune/Detune』もリリースした。